

明日への扉

No.7

世界の舞台で

活躍できる選手に!!



Nana Kuracka

倉岡 奈々さん

鹿児島女子高校3年生。(17歳)

吾平小学校、中学校卒業。高校2年の時にインターハイで初優勝。最近是全国大会のほか国際大会にも出場。高校陸上競技部副キャプテンとしてチームをまとめている。

女子1500m県記録保持者。(4分16秒20)

身長155.5cm、体重38kg。小柄な体格でありながら、陸上競技中距離の全国高校ナンバーワン!の倉岡奈々さん。

倉岡さんは、小さい頃から走ることが好きで、小学2年生の時に初めて出場した陸上大会で、良い成績を残せたことをきっかけに、陸上競技を始めたそうです。

中学時代は、2年生の時に全日本中学校陸上競技選手権大会800mで3位。また、翌年には同大会で2位となるほか、ジュニアオリンピックに出場するなど、県を代表する中距離選手として着実に成長。

その後、同じ中距離選手として、いつも堂々と力強くレースを引張る鹿児島女子高校の上原美幸選手の姿に憧れて『この学校だったら全国大会で優勝するという目標に近づける!』との思いで、迷わず同校への進学を決意します。

高校では入学直後の1年生から、インターハイや国民体育大会などで活躍するも、最高順位は2位。倉岡さんの中学生の頃からの目標である「日本一!」になかなか手が届かない日々が続きます。しかし、昨年のインターハイ1500m決勝で、ようやく栄冠を手にする瞬間が訪れます。スタート直後から青森山田高校のケニア人留学生がハイペースで飛び

出す展開にも「ラストで必ずペーシングが落ちてくる」とライバルの走り方を冷静に分析。2位をキープしながら残り200mで勝負に出ます。全身をフルに使った力強く大きなストライド。先頭の選手を一気に抜き去ると悲願の初タイトルを獲得。その時の心境を『ようやく日本一を達成する事ができて、本当に嬉しかったです』と話してくれました。

また、同高校陸上競技部の立迫俊徳監督は倉岡さんの強さについて『日頃からまじめに練習に取り組み、そして全国で戦いたい!という強い思いをいつも持っているからでしょう』と分析。

今年の近畿地区インターハイ陸上競技は、7月29日から和歌山県で開催されます。『目標は1500mでの2連覇!そして最後のインターハイなので、悔いの残ることの無いように、スタートから積極的な走りをしたい』と話す倉岡奈々さん。

最後に将来の目標について尋ねると『駅伝などでも、しっかりと結果を残せるよう、毎日練習を積んで笑顔で高校生活を送り、卒業後も日本代表として国際大会などへ出場し、活躍できる選手になりたいです』と笑顔で力強く話してくれました。



6月12日の第68回南九州高校総体陸上競技大会1500m決勝で実力を発揮して、4分19秒84の大会新で優勝。インターハイへの出場を決める。また、同大会最終日には3000mも優勝して2冠を達成。